

# 地域を支える、もう一つの「見守り」

－常総市から始まる、あたたかい更生保護の輪－

◆問い合わせ＝☎社会福祉課(内線4120)

誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、市では「更生保護」という大切な活動が息づいています。犯罪や非行からの立ち直りを地域で支える活動や犯罪予防活動など、明るい社会づくりに貢献する活動を「保護司」と「更生保護女性会」が連携して取り組んでいます。

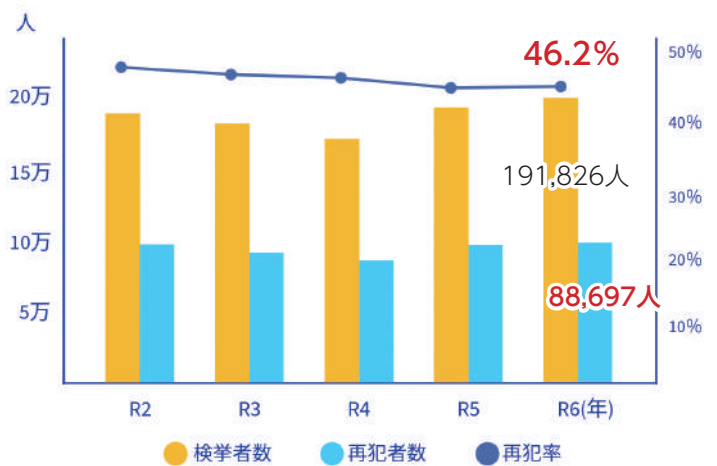
今回の特集では、これらの活動にスポットを当て、その重要性や活動内容をご紹介します。

## 更生保護の重要性 再犯率は約半数という現状

更生保護は、罪を犯した人の立ち直りを支え、再犯を防ぐことで地域の安全・安心につなげる大切な活動です。出所後に安定した生活を送るためには、住居や就労の支援に加え、地域とのつながりを築き、孤立を防ぐことが重要になります。行政だけでなく、地域住民の理解と協力により支え合うことで、誰もが安心して暮らせる社会の実現につながります。

また、右のグラフが示すように、再び罪を犯してしまう人が少なくない現状があります。更生保護では、一人ひとりの立ち直りを支援し、再び地域社会の一員として活躍できるよう支えていくことを目指しています。

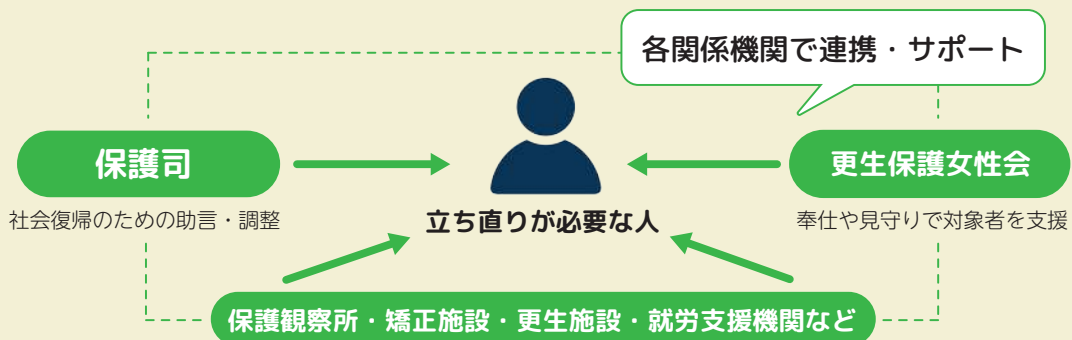
刑法犯検挙者中の再犯者数および再犯者率(全国)



法務省「令和7年度版再犯防止推進白書(概要)」より

## 更生保護のしくみ

保護司・更生保護女性会・関係機関が連携し、立ち直りが必要な人を多角的に支援し、地域全体で支え合える体制を整えています。



＼地域全体で支え合い、安心して暮らせる社会へ／

## 保護司 更生を支援し、再び社会で生活できるよう手助け

保護司は、法務大臣から委嘱された民間のボランティアです。立ち直りを必要とする対象者一人ひとりの状況に合わせた、きめ細やかな個別支援が特徴です。対象者が安定した生活を送れるように支援し、地域社会に溶け込むための橋渡しをしています。

### 保護観察

保護観察対象者と定期的な面接や自宅訪問を行います。生活相談や彼らが抱える悩みの問題解決をサポートし、立ち直りを助けます。



### 生活環境の調整

対象者がスムーズに社会復帰できるように、住居の確保や就労支援などを行い、地域での安定した生活基盤づくりを支援します。



### 犯罪予防活動

更生保護の理解を進め、犯罪や非行を未然に防ぐために、「社会を明るくする運動」や「薬物乱用防止教室」などの啓発活動を行っています。



## 更生保護女性会 立ち直りを地域で支えるボランティア団体

更生保護の活動への理解を進めるため、女性ならではの感性やネットワークを活かし、地域社会をより明るいものへするための活動を展開しています。また、保護司会と連携し、社会復帰を目指す方々を温かく見守り、地域との交流を深めています。

### 奉仕活動・更生支援

少年院などへの慰問、生活用品の補修・日用品の支援などの奉仕活動を通じ、犯罪や非行からの立ち直りを支援しています。



### 犯罪予防活動

保護司と共に、更生保護の重要性を地域社会に広めています。イベントへの参加などを通じ、地域に根差した活動を展開しています。



### 愛の募金

過ちを犯した人々の立ち直りを支援するとともに、青少年の健全な育成を目的として募金活動を行っています。



## 社会を明るくする運動 地域で進める、立ち直りを支える社会づくり

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行をした人々の立ち直りを地域全体で支える全国運動です。市でも、広報やイベントでの啓発活動、作文コンテストなどを通じ、更生保護への理解を進めています。社会からの排除ではなく、受け入れと支援により、再犯防止と安全安心な地域づくりを目指しています。



昨年度の活動の様子

## 地域の中で人と向き合い、立ち直りを支える更生保護の現場

常総地区保護司会と常総市更生保護女性会で活躍されている4人の方にインタビューを行いました。活動を始めたきっかけや活動を通して感じた「更生保護の重要性」について伺いました。

### Interview 01

## 常総地区保護司会



石塚 洋 さん



谷中 悦子 さん

Q：保護司の役割を教えてください。

**石塚さん**：全国の再犯率は約半数とされる中、保護司は保護観察対象者と面接を行い、社会復帰を支援する役割を担っています。立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐとともに、地域社会の安全安心を守る抑止力にもなっていると感じています。

### “寄り添う対話を通じて、社会復帰と再犯防止を支える保護司の活動”

Q：保護観察対象者との面接はどのように行われるのでしょうか？

**石塚さん**：対象者とは月2回程度面接を行います。事前に保護観察所から提供される資料で事件の経緯などを確認しておきます。初対面で緊張感もありますが、まずは相手の話を丁寧に聞き、コミュニケーションを大切にしています。

**谷中さん**：不安もありますが、先輩方の経験や前例を参考にしながら、対象者に寄り添う姿勢で臨んでいます。

Q：この活動を始めたきっかけは何ですか？

**谷中さん**：これまで少年院や児童相談所などの福祉事業に関わる機会があり、地域社会に貢献したいという思いから活動を始めました。現在は、仕事と両立しながら、空いている時間で活動しています。

**石塚さん**：市職員として更生保護事業に携わ的过程中で保護司の方々と関わり、その熱意に感銘を受けました。退職後に声をかけられたこともあり、恩返し的心态で参加しました。

Q：活動を通しての気づきはありますか？

**石塚さん**：様々な背景を持つ人と向き合う中で傾聴力が身につきました。対象者は孤独を抱えていることが多く、話を聞くことの重要性を実感しています。

**谷中さん**：活動を通して、一人ひとりを見ると必ずしも悪い人ばかりではなく、環境や状況によって過ちを犯す場合もあると感じました。温かく受け止め、立ち直りを後押しすることが大切だと思います。



Q：保護司になろうと考えている方へメッセージをお願いします。

**石塚さん**：保護司は特別な資格がなくても担える活動であり、現在は安全面にも配慮された体制が整っています。

**谷中さん**：更生保護活動への理解と関心を持ち、明るい社会づくりに参加していただけたら嬉しいです。

### わたしたちと一緒に明るい社会を作っていきませんか？

常総地区保護司会

☎42-2866 (サポートセンター)

石下総合福祉センターを拠点に活動を行っています。公共施設を利用した2人体制での面接など保護司の安全面に配慮した体制が整っています。仕事をしながら活動をしている方もいます。

## Interview 02

# 常総市更生保護女性会



志谷 玉江 さん



染谷 美智子 さん

Q：活動内容について教えてください。

染谷さん：少年院や刑務所への慰問や奉仕作業、地域への啓発活動などが中心で、月1回ほど活動しています。常総市更生保護女性会には総務・広報・犯罪予防・研修の4部があり、私たちは犯罪予防部に所属しています。茨城農芸学院への訪問に向けた準備や、支援物品の選定・購入なども行っています。

“あいさつを通じて伝える、地域を見守る存在としての役割”

Q：活動のやりがいについて教えてください。

志谷さん：慰問では院生の衣類の名札付けなどを行い、母親のような温かさが伝わればと思っています。また、あいさつ運動や薬物乱用防止教室に参加する中で、小さな活動が地域に広がっていく実感があり、やりがいを感じています。

染谷さん：あいさつ運動を通じて、中学生が自ら声をかけてくれたときはとても嬉しく、活動の成果を感じました。今では地域の子もたちと自然にあいさつを交わせる関係ができています。

Q：この活動を始めたきっかけは何ですか？

志谷さん：退職後、地元の先輩に声をかけられたことがきっかけです。これまで仕事中心の生活だったため、視野を広げたいと思い参加しました。

染谷さん：65歳を迎え時間に余裕ができ、何か社会に役立つことをしたいと考えました。義理の母を通じて以前から活動を知っていたこともあり、近所の方の後任として参加しました。



Q：活動を通しての気づきがありますか？

志谷さん：これまで関わりのなかった人々との出会いが学びとなり、活動に参加して良かったと感じています。

染谷さん：慰問先での経験から、子どもたちだけでなく家庭や周囲の大人の影響も大きいと実感しました。今後は、保護者への啓発にも取り組めれば良いなと思っています。

Q：参加を考えている方へメッセージをお願いします。

志谷さん：先輩方が優しく導いてくれるので安心して参加できます。関心を持ってもらえると嬉しいです。

染谷さん：地域の催しなどでも活動紹介を行っています。多くの方に知っていただき、ぜひ参加してほしいと思います。